

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 53番
- *交読文 番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 180番
- 礼拝のための祈り 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 341番
- 聖餐式 賛美281番
- メッセージ アブラハムとサラ - 約束の子を産む前に(創世記 20 章)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 432番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が 70 名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

「わたしの子____よ、主の訓練を軽んじてはいけない。主に責められるとき、弱り果ててはならない。主は愛する____を訓練し、受け入れるすべての子を、むち打たれるのである。」____は訓練として耐え忍びなさい。神は____を、子として取り扱っておられるのである。いったい、父に訓練されない子があるだろうか。だれでも受ける訓練が、____に与えられないとすれば、それこそ、____は私生子であって、ほんとうの子ではない。・・・肉親の父は、しばらくの間、自分の考えに従って訓練を与えるが、たましいの父は、____の益のため、そのきよさにあずからせるために、そうされるのである。すべての訓練は、当座は、喜ばしいものとは思われず、むしろ悲しいものと思われる。しかし後になれば、それによって鍛えられる____に、平安な義の実を結ばせるようになる。(ヘブル 12:5-11)

多くの国民の父・母として整えられつつあるアブラハムとサラの間に、もうすぐ約束の子・イサクが生まれる。その直前に、彼らは以前と同じ失敗を繰り返す。「アブラハムは妻サラのことを、「これはわたしの妹です」と言ったので、ゲラルの王アビメレクは使いをやってサラを召し入れた。」(創世記 20:2) アブラハムは以前、エジプトに滞在した時にも、妻サラに自分はアブラハムの妹ですと言わせ、エジプトの王パロに召し入れられてしまった事があったが(創世記 12 章)、それと全く同じ失敗をしたのだ。彼らは、あれから色々な訓練を主から受け、信仰的に成長し、また、偉大な信仰の結果を多く生み出して来たはずなのに、こんな初歩の時に犯したのと同じあやまちを繰り返したのは、どうした事だろうか。アブラハムには確かに、当地の王・アビメレクに対する恐れはあった(11 節)。しかしこの失敗は、無意識的・習慣的な所に原因があったようである。実はアブラハムは、父の家を出た当初、およそ 24 年前、妻サラとの間に、ある約束を交わしていた。すなわち彼は、彼女に、どこへ行っても「兄です」と言うよう頼んでいたのだ。(創 20:13) 私達も同じ失敗を繰り返してしまう所があるなら、無意識的な「行動」や「口ぐせ」、「思考パターン」に、原因を求めたほうが良い。

信仰が未熟な時期に交わした、はるか昔の約束。彼は父の家を離れて以来、未踏の地へ足を踏み入れ初対面の人と合う度に、自分を防御するために「兄妹です」と言うようになっていた。今回もいつものように無意識的に言ってしまったため、またしても、当地の王(アビメレク)の所へ連れて行かれてしまったのだ。そしてその時、「実は夫婦です」と言って真実を打ち明ける事もせず、ただ連れて行かれるまま、なされるがままにしてしまった。自分が無意識的に言った事が、おおごとになり、心では同意しなくなかったにしても、ひと度自分の口から出して、同意してしまったからには、望まぬ手続きがあれよあれよと進んで行ってしまうと、もう、後からそれを覆すのは容易ではないものだ。だから、最初の勇気が肝心である。それでも主は、今回も憐れんで下さり、悪くないはずのアビメレクを脅して怖れさせ、悪いまうのアブラハム達を弁護し、そうして誰も罪を犯さないよう、保護して下さい。これらの事は一体、どういう事だろう。

次の 21 章では、アブラハムとサラにはいよいよ待望の子が生まれ、名実共に多くの父・国々の母となって行くのだが、その前に、主は、その偉大な信仰者に相応しからぬ口ぐせや習慣を取り扱われたのであろう。アブラハムとサラは異母兄妹なので、確かに「兄妹」には違いないし、今までそう公言した事によって、何らかの利益があったかもしれない。(もっとも聖書を見る限り、その事は不利益しかもたらさなかったが。)しかし、神様が彼らの間に「子を与える」と約束して下さい以上、すぐに「自分達は兄妹です」という口癖は止め、「自分達は夫婦です」と公言し、周囲にあかしておくべきだったのだ。彼らが「夫婦」であると表明していて、その上で子が生まれるなら、「神様が私達夫婦に子を与えて下さった」と証して、神の栄光となる。しかし、一体どうして「兄妹」の間に子が生まれて、神の栄光となるだろうか。神の栄光のために、彼らのアイデンティティは「兄妹」であってはならず、「夫婦」であるべきであったのだ。私達も、どのアイデンティティを世に表明するかによって、祝福を受ける受けないが決まって来る。

世の中では、皆が当たり前のように許されているような事でも、神の民には許されない事がある。特に、神の国の重要な役割を担っていく働き人であるならある程、そうだ。主は、主の愛する人を、これからもっと大きな事に用い、さらに大きな祝福を継ぐに相応しく整えようとする時、それまで無意識的に言ってしまっていた不信仰な口ぐせや偽り、不信仰な時に締結してしまった約束や固まってしまった習慣などを気づかせ、それを強制的に改めさせられる。主に愛されていれらる程、そうである。なぜなら主は、子として扱っておられるからだ。(ヘブル 12:5-11) アブラハム達はその除かれるべき口癖や習慣が取り扱われ、もはや兄妹ではなく夫婦であると、周囲に表明するようになり、こうして神と人との前で夫婦として子を生み、堂々と証できる準備が整えられた。主にあって、ますます大きな事に用いられ、大きな祝福にあずかるために、罪深い性質や不信仰な口ぐせ、習慣などが取り除かれ、清められ、そして、主からさらに良きものが与えられる素地がますます整えられる皆さんでありますように！ イエス様の名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報

集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有)	14:00
聖書の学び会(詩篇)	15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈祷会	19:30～

水曜集会

1部	13:00～
2部	19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト

